

# 「iDeCo」がスタートし、1年が経過しました。

〈静岡ろうきん〉では  
2017年12月末までの1年間に  
3,360件の申込みをいただきました。

老後の資産形成に有効なiDeCoを、より多くの組合員に利用してもらう取組みを展開した東レプラスチック精工労働組合の尾上執行委員長をはじめ、執行部の皆さまにお集まりいただき、取組みについてお話を伺いました。  
(取材日：2017年12月5日)



執行委員長 尾上祐二さん 副執行委員長兼書記長 石神大介さん 執行委員 鈴木直人さん 執行委員 後藤修平さん



執行委員 長島良太さん 執行委員 大川小孝さん 執行委員 芹沢是高さん



担当渉外係  
ろうきん三島支店  
飯塚 杏奈  
(2015年度入庫)

## Q1 会社の退職金・企業年金制度はどのようなものですか？

- 退職一時金と企業型DB(確定給付型年金)を導入しています。今後の公的年金受給額の減額が見込まれる中で、組合員の老後の生活資金の柱として有効な制度と考えています。
- 現時点では企業型DC(確定拠出型年金)導入の予定はなく、個人型DC(iDeCo)を組合員に勧められる状況にあります。

## Q4 60歳以降の将来について考えるには早いと感じる若年層組合員の方が多いと思いますが？

- 国の厚生年金の受給開始年齢がこれからもっと引き延ばされる可能性がある中で、老後の生活資金がどの程度必要なのか、若年層でも理解してもらえよう、シミュレーションを含めて丁寧に説明しました。
- 最初はよく分からないといった感じの組合員も、詳しく説明すると自分の将来のことだと受け止めて、前向きに検討してもらえました。

## Q5 iDeCoのメリット・デメリットを説明するポイントは？

- 一番大きなメリットは、所得税や住民税が戻ってくることだと思います。その説明をすると、多くの組合員の皆さんに興味をもっていただけます。
- デメリットである60歳まで解約(積立資産の引き出し)ができないことや手数料などについては、特にしっかり説明しています。また、これから結婚して家庭を持つという若年層組合員も多いため、無理のない金額での積立を勧めたいです。

## Q2 なぜ組合員の方々にiDeCoを勧めようと思ったのですか？

- 2015年11月に厚生年金基金が解散した後、組合員の60歳以降のセカンドライフを豊かなものにするにはどうしたらいいのか、執行部で考えるようになっていました。
- 〈ろうきん〉の飯塚さんからiDeCoの提案があり、税制メリットの優れた商品であるため、将来の資産形成に向け若年層を中心に取組む必要があると感じました。

## Q3 2017年11月に11件の申込みがありました。一時期にまとめてiDeCoの申込みがあるのはめずらしいですが、どのような取組みをされたのですか？

- まずは執行部と全国に7拠点ある工場の評議員・地区長が集まる会議でセミナーを開催し、組合員に勧める立場の方々に理解をしてもらいました。
- 7名の執行部の内すでに4名が利用しており、執行部が自ら制度を理解し、利用することで、組合員に伝える力が大きくなったと思います。
- 次に、20代にターゲットを絞り、若年層組合員を数名集めて〈ろうきん〉と一緒に説明会を開催しました。今の生活に無理のない積立を一緒に考えることができたと思います。
- 最後は執行部から老後資産形成の重要性やiDeCoの特徴点について改めて説明し、背中を一押ししてあげることで、組合員が自ら「やりたい」と思ってもらうことが申込みにつながったのではないかと感じています。

### 東レプラスチック精工労働組合 執行部の皆さま



## Q6 今後の取組みの課題はありますか？

- 11月は20代にターゲットを絞った取組みをしましたが、今後は30代・40代と60歳までに10年以上の積立期間が確保できる組合員への説明にも力を入れていきたいと考えています。
- ただし、この年代は住宅ローンを利用している組合員も多いため、住宅ローン控除を受けながらもさらに税制優遇が有効かを一緒に見極めながらの取組みになると思います。

## Q7 担当している〈ろうきん〉飯塚職員への組合員の反応はいかがですか？

- 事前に話し合いをした中身も含め、分かりやすく説明してもらっています。
- 若年層組合員へのインパクトは抜群です！
- 会社が交代勤務制ですが、各組合員の都合に合わせて来てもらって助かっています。

## Q8 そんなお褒めの言葉をもらった飯塚職員へ説明会で強調しているポイントなどはありますか？

- 今回の取組み対象の皆さんが、比較的若い世代だったことから、所得税や住民税などの税金をあまり意識していなかったと感じています。身近な年末調整の手続きで税金が戻ってくることをしっかり理解してもらえよう丁寧な説明に努めています。
- 同年代の方も多く、私自身の体験を伝えることで、共感してもらえるとグッと距離が縮まる感じがします。少し遠い将来のことですが、皆さんと同じ目線に立って一緒にプランを考えるよう心掛けています。